組織現勢（7月1日現在）

組合員数	21,808 世帯
出資口数	90,993 口
6月の新規加入	13 世帯
6月の増資口数	909 口

No. 342 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL（3762）0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座（普）0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円

第36回 通常総代会 6月25日㈯

福祉・防災都市東京をめざし、住み続けられるまちづくりと仲間づくりでいっそう 頼りになる保健生協づくりをすすめましょう

あいさつする小関理事長

小関直彦理事長あいさつ

城南保健生活協同組合第36回通常総代会が6月25日㈯、大田区民ホールアプリコ展示室で行われました。お忙しい中お越しいただいた来賓のみなさまに心よりお礼申し上げます。また、当日は総代のみなさんに熱心に討議していただき、2011年度活動方針（案）、予算（案）など8号にもおよぶ議案を満場一致で採択することができました。そして、今回は『東日本大震災の復興に向けて、被災者救援の想いを集め、大きな支援の輪を広げていくとともに、原子力発電に頼らない自然エネルギーへの転換を求めていく運動を広範な団体、個人に呼びかけていきましょう』という特別決議も提案されました。

今総代会を大きな力とし、地域における幅広い対話をすすめ、誰もが安心して住み続けられるまちづくり運動を広げていきましょう。

3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生しました。私たち城南保健生協は早速、3法人一体となって義援金を集め、また、物品を持ってボランティアに参加しました。多くの国民のみなさんがカンパをしたり、あるいはボランティア活動をしているという中で、いったい政府や国会は何をしているんだろう…という声を新聞やテレビで聞くことができます。国民の怒りの声は日々高まっています。

原発問題としては、もう早くから指摘されているように「原発は安全なんだ」という神話がつくられてしまったことに大きな問題があります。

私たちは「健康で安心して住み続けられるまちづくり」を一貫して追求し、みなさんと今日まで活動してまいりました。この事件を契機に、「福祉・防災都市東京をめざし」ということを付け加えました。これは今、日本にとってとても大切なことでないかと思っています。

これからも精いっぱいみなさんの力になりたいと考え、この1年間も仲間増やし運動に力を入れて、多くの仲間を迎えることができました。さらにみなさんの力をお借りしてもっともっと大きな力にしていきたいと考えております。

第36回総代会発言（要旨）

2年連続仲間増やし目標を達成した 馬込山王支部

馬込山王支部
海老根 総代

私たちの目標は30人の拡大でした。その内訳は10人がすずらん馬込での加入です。3人は「よろず相談」。残り17人が支部としてとりくんだ拡大です。3月の支部運営委員会で目標達成まであと3人ですと言われ、それならなんとかやれるということでがんばって達成しました。

毎月、すずらん馬込の中にある「スペースめおとざか」でループループ体操をやっているのですが、そこに参加している方のお友だちや2ヵ所で行っている青空健康相談会での加入です。

私たちは15年前くらいから青空健康相談会をやっています。はじめは北馬込のさわやか信金前でやっていたのですが、人通りがだんだん少なくなってきてしまい、それなら別の場所でと南馬込の桜並木ではじめました。昨年からは地域の方の紹介で荏原町の大東京信組前で、営業が終わる16時から17時までの1時間、月1回やりはじめました。1時間ですが、平均16～17人、多いときは21人くらいが健康チェックを受けていきます。

8年前に地域で集まれる場所をということで、「スペースめおとざか」ができました。そこでは、週3回の体操教室と年3回の食事会、7月には七夕の会などをやっています。そうした中から体操に参加して加入につながっています。

私たちは仲間を増やそうと思ってやっているというよりは、2ヵ所での青空健康相談会と地域の方が集まれる場所があること、そこが医療生協であり、ヘルパーステーションとつながっていることの安心感が目標達成につながっているのではないかと考えています。いろいろなところにそうした居場所があれば、生協の良さが伝わるのではないかと思います。

中期計画4年目としての2011年度重点課題

① 東日本大震災の被災地・被災者の救援、復興支援を日常活動に位置づけ、ねばり強い支援活動と社会保障制度の拡充、原子力発電に頼らない自然エネルギー政策への転換などをさまざまな団体・個人と協力してすすめよう

② 2012年の医療・介護の同時改定に向けたたたかいと対応をすすめ、グループホームとヘルパーステーション事業を軌道に乗せ、保健・医療・介護・福祉の充実で安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう

③ 貧困と格差がますます拡大する中で、無料低額診療事業を行う大田病院・大森中診療所・大田歯科との連携を強め、よろず相談や青空健康相談会などでの相談活動を重視し、経済的理由での受診控えや自殺をなくすとりくみをひろげよう

④ 地域（購買）生協やNPO法人などとの連携をいっそう強めて、日常的に地域を見守るネットワークを拡げるとともに、幅広い年齢層が参加できる健康づくり、助け合い活動で頼りになる保健生協をめざそう

⑤ 社会保障の後退をくいとめ、国民健康保険料の減免・引き下げ、高齢者医療制度の廃止、年金制度の改善、消費税増税反対をはじめとした国民的運動をすすめよう

⑥ 青空健康相談会、健康体操・ころばん体操班会、認知症サポーター養成講座、健康講座など、多彩な班会・学習会などを旺盛に開催し、班づくり・各支部活動の強化をすすめて、地域・職域まるごと健康づくり運動をひろげよう

⑦ 区民健診やがん検診をはじめとした自治体健診、アスベスト検診、予防接種などの無料化・拡充を求めて自治体への働きかけを強めよう

⑧ 平和憲法を守り、憲法9条、25条をくらしに生かす運動をすすめよう

2011年度 役員体制

理事長 小関直彦
専務理事 植田栄一
常務理事 安斎晴夫
常務理事 色部祐
常務理事 前澤淑子
常務理事 松川久男
常務理事 村松茂
理事 横山直城
理事 浅見美代子
理事 石川八郎
理事 楳田政代
理事 江部謙五
理事 大川進
理事 大澤千恵子
理事 亀田やすみ
理事 川居直美
理事 川崎恵理子
理事 神田瑞穂
理事 工藤人喜江
理事 小林秀男
理事 齋藤礼子
理事 笹尾邦昭
理事 佐藤利枝
理事 志田恵子
理事 下山珪子
理事 高橋恵美子
理事 高橋貴美子
理事 忠鉢文子
理事 塚平憲和
理事 戸張由子
理事 丹伊田恵寿
理事 橋本雪子
理事 波多野園恵
理事 二村国太郎
理事 星野弘子
理事 三上志津子
理事 森光男
理事 安田久美子
理事 渡辺峰人
理事 綿貫有三子
監事 須山恵子
監事 荒川侃
監事 片岡君子

今年度は改選期ではありませんが、理事1名が任務・事業所異動等の理由により退任となりました。新任理事1名を含め全体で40名の理事と3名の監事となります。

退任理事 柳田紀久子
新任理事 川居 直美

新任理事
川居直美さん